

# 令和3年度 定時総会議案書

日 時 令和3年5月27日(木)

午後1時30分から

会 場 尼崎商工会議所 601号室



公益社団法人尼崎市シルバー人材センター

# 総 会 次 第

- 1 開会のことば
- 2 物故会員への黙祷
- 3 理事長あいさつ
- 4 議長選任
- 5 定足数確認
- 6 議事録署名人指名
- 7 報 告
  - 報告第1号 令和2年度収支予算の補正について
  - 報告第2号 令和2年度事業報告について
  - 報告第3号 令和3年度事業計画について
  - 報告第4号 令和3年度収支予算について
- 8 議 事
  - 議案第1号 令和2年度収支決算について  
監査報告
  - 議案第2号～18号 役員の選任について
  - 議案第19号 理事長に対する権限委任について
- 9 閉会のことば

## 報告第1号 令和2年度収支予算の補正について

公益社団法人尼崎市シルバー人材センター定款第36条の規定に基づき  
令和2年度収支予算の補正について報告する。

補正予算の科目及び金額は、別添1「令和2年度収支補正予算書」のと  
おり。

令和3年5月27日 提出

公益社団法人尼崎市シルバー人材センター  
理事長 岩 田 強

## 令和2年度 収支補正予算書

注) 補正部分のみを表示しているため、縦の予算合計は合致しません。

単位: 千円

科 目	予算現額	補正額	補正後予算額	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
経常収益計	1,781,482	0	1,781,482	
(2) 経常費用				
事業費	1,750,879	▲ 4,784	1,746,095	
支払配分金	1,328,701	▲ 11,584	1,317,117	
什器備品費	426	800	1,226	・立花、園田地区移転に伴う費用 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う費用(作業所、地区事務所等)
修繕費	1,717	4,400	6,117	・地区事務所移転に伴う改修費用
消耗品費	6,164	300	6,464	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う費用(作業所、地区事務所等)
給料手当	62,238	1,300	63,538	・新規職員の経歴換算等増、昇格
管理費	23,445	4,784	28,229	
修繕費	200	2,500	2,700	・支部事務所移転に伴う改修費用
委託費	5,443	1,300	6,743	・支部事務所移転に伴う移転作業 ・パソコン導入初期費用
給料手当	5,412	184	5,596	・事業費 給料手当の配賦割合分
消耗品費	1,099	800	1,899	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う費用(本部、支部)
経常費用計	1,782,689	0	1,782,689	
当期経常増減額	▲ 1,207	0	▲ 1,207	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却(売却)損	0	541	541	・在宅勤務対応のため、ノートパソコンに切り替え
経常外費用計	0	541	541	
当期経常外増減額	0	▲ 541	▲ 541	

収支予算書に係る注記

## 1 投資活動及び財務活動に関する見込

科 目	予算現額	補正額	補正後予算額	備 考
1 投資活動収支の部				
(1) 投資活動収入				
投資活動収入計	95,748	0	95,748	
(2) 投資活動支出				
敷金・保証金等支出	0	1,200	1,200	
保証金支出	0	1,200	1,200	園田地区事務所保証金支払い
特定預金支出	40,000	▲ 1,200	38,800	
設備等整備資金積立預金支出	40,000	▲ 1,200	38,800	
投資活動支出計	118,412	0	118,412	
投資活動収支差額	▲ 22,664	0	▲ 22,664	

## 報告第2号 令和2年度事業報告について

公益社団法人尼崎市シルバー人材センター定款第37条の規定に基づき  
令和2年度実施事業について報告する。

事業の内容は、別添2「令和2年度事業報告」のとおり。

令和3年5月27日 提出

公益社団法人尼崎市シルバー人材センター  
理事長 岩 田 強

## 令和2年度事業報告

### 1 概要

令和2年度は、2度にわたる緊急事態宣言の発出があり、学校の休校や施設の休業など多くの人の集まるところに制限が設けられ、1年を通して日本経済にも大きな影響がありました。

こうした状況のなか、尼崎市シルバー人材センターの令和2年度の契約額は、16億1,870万円で、令和元年度と比較し459万円の増加となりました。新型コロナウイルス感染症の影響で、民間事業所を中心に大きく減少しましたが、自転車関連の指定管理事業が拡大したことにより、最終的に令和元年度とほぼ同額を維持することができました。

一方会員数においては、令和元年度を246人下回る4,060人となり、減少に歯止めをかけることができませんでした。

### 2 事業報告

#### (1) 会員拡大の取り組み

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入会説明会を開催できない月がありましたが、1回の入場人数を制限して回数を増やすとともに、説明会の時間の短縮を図るなど、実施方法を変更して開催しました。地域のイベント等への参加はできませんでしたが、会員募集のチラシ配布、市報や尼崎市老人クラブ連合会の会報への広告掲載、ハローワークとの連携、顧客企業への案内、会員紹介制度等を実施しました。会員紹介制度では、男性17人女性31人の計48人が入会され、前年度と比較して31人増加しました。しかし、会員数は前年度末と比較して246人減少となりました。

#### (2) 事業開拓・普及啓発事業の実施

市民まつりや、地区まつりなどのイベント及び、全国統一普及啓発促進月間に予定していた各地区一斉駅前清掃ボランティアは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、顧客への働きかけのほか、事業開拓チラシの全戸配布や、機関紙に仕事募集記事を掲載する等、受注の拡大に努めました。

また、公共施設の指定管理者の募集に応募し、令和3年度から園田生涯学習プラザ（園田東・園田西）の指定管理者として尼崎市文化振興財団・シルバー人材センター共同事業体あまがさきコミュニティパートナーズが指定されました。

既存の顧客を対象とした賛助会員への加入依頼では、民間事業所187件・家庭53件に加入いただきました。

実績としては、自転車関連の指定管理業務拡大での増加がありましたが、請負業務全般において新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け減少しました。結果、契約額については前年度とほぼ同じ実績となりました。

#### ア 公共関係

公共関係の令和2年度契約額は、3億5,010万円となりました。

(対前年比 ▲5.1% 1,883万円減)

学校安全管理業務の上半期の時間短縮や、春季の休校によるスポーツ施設の開放業務委託の減少などが要因です。

#### イ 事業所関係

事業所関係の令和2年度契約額は、8億7,076万円となりました。

(対前年比 ▲8.6% 8,237万円減)

新型コロナウイルス感染症の影響により、公園駐車場や塾、幼稚園、飲食業などの業種の終了や縮小、事業所の業績悪化による縮小のため大きく減少しました。

#### ウ 家庭関係

家庭関係の令和2年度契約額は、1億2,867万円となりました。

(対前年比 ▲13.0% 1,915万円減)

コロナ禍で自宅への人の出入りを避ける方が多くなり、家事援助サービス業務を中心に大きく減少しました。

#### エ 自主事業

自主事業の令和2年度契約額は、356万円となりました。

(対前年比 ▲29.7% 150万円減)

自転車リサイクル、パソコン教室等において感染症拡大時期に休止したことなどにより、大幅に減少しました。

#### オ 指定管理

指定管理業務の令和2年度契約額は、2億1,376万円となりました。

(対前年比 136.2% 1億2,327万円増)

令和2年度から尼崎市立自転車等駐車場関連業務の北西部における指定管理者をシルバー単独で受託したことから、大きく実績が伸びました。

#### カ 派遣事業

派遣事業の令和2年度契約額は、5,186万円となりました。  
(対前年比 6.5% 318万円増)  
スーパー業務の分野において、実績が増加しました。

(3) 地域班事業の充実

地区事務所の機能強化及び世話人の役割分担について、協議・検討し、令和3年度から新たに所長を設置するなどの地区体制の改正を行いました。

便利屋班では、人材確保のため、事務局だよりに募集の掲載をしたほか、新入会員を中心に募集を行いました。また、多く発生していた飛び石事故を防ぐための除草器具の支給を行いました。

(4) 職域班事業の充実

技能を有する会員に対しては、積極的に職域班への紹介を行い、班の充実を図りました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で職域班会議を開催できませんでしたが、担当職員が班長と個別に情報共有や意見交換を行い、班活動の活性化と就業意識の高揚に努めました。

(5) 安全対策の推進

安全管理委員会を安全・適正就業委員会へ改組し、その所掌事項に適正就業に関することを加え、より多角的な視点から会員の安全・適正就業をサポートできるよう機能の充実を図りました。

車両における事故防止や、事故発生時の処理を円滑にする目的で、センター所有の車両17台にドライブレコーダーを設置しました。

安全に対する研修では、剪定・除草の仕事に従事する会員を対象に、技術レベルの向上と事故防止のため、コベルコ教習所にてチェーンソー取扱安全講習会、刈払機除草安全講習会を実施しました。安全大会については感染症拡大防止のため中止し、安全講習会についても回数を減らして実施しました。

また、当センターでは会員に3年間で安全に関する講習の受講を義務付けていますが、講習開催が限定されたことで受講できない状態となったことから、自宅でフレイル予防体操を行ってもらい、その報告をもって安全講習受講としました。フレイル予防体操参加人数は、夏季307人、冬季1,592人の合計1,899人となりました。

講習会名	回数	参加人数
安全大会（各地区）	中止	中止
安全講習会（本部・支部）	4回	33人



毎月20日の「安全の日」に開催		
チェーンソー取扱安全講習会	1回	4人
刈払機除草安全講習会	1回	5人
合 計	6回	42人

臨時号を含め安全だよりを年5回作成し、新型コロナウイルス感染症や熱中症予防、健康管理、事故防止等の啓発を行いました。

安全対策の取り組みに対する地域班表彰については、成果のあった武庫地域班を表彰しました。

令和2年度の会員の事故は、傷害事故16件、賠償責任事故19件となり、令和元年度より5件増加しました。

#### (6) 一般労働者派遣事業・有料職業紹介事業の推進

令和2年3月に児童ホームの補助員を想定したその他のサービスの職業について高年齢者雇用安定法第39条の規定による業務拡大の指定を受けました。児童ホームの補助員については令和3年度の実施に向けて協議中です。

新規受注時には積極的に派遣事業のPRを行い、スーパー関連業務の受注により前年度より約5%実績が伸びました。

有料職業紹介事業について、今年度の受注はありませんでした。

#### (7) 指定管理者制度の受託等

##### ア ニ崎市立老人福祉工場

老人福祉工場のパンフレットの活用や事務局だよりでの就業者の募集、工場見学などで就業拡大を図りましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による工場の一時休止や、内職仕事の受注量が減少したことにより、実績としては厳しい状態が続きました。

工場内研修事業については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

##### イ ニ崎市立自転車等駐車場並びに放置自転車対策業務

自転車駐車場では、就業会員に対して接遇、防犯、防火、個人情報保護等に関する研修を実施し、会員のさらなる意識の向上を図りました。

また、意見箱やアンケートなどで集めた利用者の声を研修に取り入れることにより、利用者のサービス向上に努めました。

放置自転車対策業務では、駅周辺の重点地域における放置自転車の減少を図るとともに、周辺店舗等には啓発用のティッシュを置かせてもらうなど地域の協力を得ながら啓発活動を行いました。

(8) 会員向けの各種取り組み

顧客の維持・確保を図るため、就業会員のマナー指導を徹底し、苦情の発生防止を行いました。また、新型コロナウイルス感染症拡大により接遇の研修が実施できなかったため、事務局だよりで人権啓発に関する情報を掲載しました。

新入会員については入会時に地区担当職員を指定し、早期のうちに就業支援体制を整えるとともに、所属の地区についての説明を丁寧に行うことで、地区担当職員と地域班の両方からのサポート体制作りをしました。

また、仕事紹介の基礎資料となる希望職種・希望時間等の会員情報などについて、新たに知り得た情報を随時更新しました。

(9) 事業運営の効率化

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染予防及び事業の継続を図ることを目的とした感染対策（マニュアル）を策定しました。

また、事務局では、会員及び職員の感染対策方法や各種事業の実施方法について検討するためコロナ対策会議を定期的に開催しました。

感染防止対策においては、事務局だより等でマスク着用や不要不急の外出自粛の呼びかけを継続的に行ったほか、各事務所に飛沫防止アクリルボードや空気清浄器等を設置しました。

職員の在宅勤務では、兵庫県・尼崎市からの推進要請に協力するため、業務用パソコンを持ち運び可能なノート型へ変更するなどの必要な環境を整えました。

そのほか、令和3年4月1日から共済会事業を当センターの相互扶助事業として位置づけるため共済事業委員会設置規程を制定するなど、相互扶助事業への移行準備を行いました。

(10) 設立40周年記念事業

設立40周年記念事業実行委員会のもと、記念事業を実施しました。

記念式典については令和2年10月22日に尼崎市記念公園ベイコム総合体育館にて開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。なお、設立40周年記念特別表彰式については令和2年10月1日（木）に開催しました。

【40周年記念事業】

- ・設立40周年記念特別表彰式

※来場者を限定したうえで開催、来場者以外の対象者には後日感謝状と記念品を配布。

表彰対象者

- (功労者1人、発注者13社、賛助会員89社/人、会員127人)
- ・40周年記念誌の作成・配布
  - ・記念品(おこめ券)の配布(一般会員対象)
  - ・記念品(ボールペン)の配布(賛助会員対象)
  - ・社名入り付箋の配布(顧客対象)

(11) 各種会議

ア 定時総会

令和2年5月28日(木) シルバー会館3階会議室

イ 理事会 5回

ウ 代表世話人会議 12回

エ 安全・適正就業委員会 3回(うち2回は書面で開催)

オ 事業開拓等推進委員会 2回(いずれも書面にて開催)

カ 理事・監事選考委員会 2回

キ 新型コロナウイルス感染症対策会議 27回(管理職職員のみ)

(12) 表彰等

ア 兵庫県シルバー人材センター協会 会長表彰

※事業推進大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○ 25年在籍表彰 職員 1人

○ 15年在籍表彰 会員 60人

イ 尼崎市シルバー人材センター 理事長表彰

○ 10年在籍表彰 会員 233人

○ 地域班表彰(安全) 武庫地域班

### 3 事業実績

#### (1) 会員の状況

区分		令和2年度	令和元年度	増減	
正会員 (ゴールド会員を 含む)	計	4,060 人	4,306 人	▲ 246 人	▲ 5.7 %
		平均74.5歳	平均74.1歳	—	—
	男性	2,355 人	2,474 人	▲ 119 人	▲ 4.8 %
		平均74.8歳	平均74.6歳	—	—
	女性	1,705 人	1,832 人	▲ 127 人	▲ 6.9 %
平均73.9歳		平均73.5歳	—	—	
粗入会率		2.7 %	2.8 %	▲ 0.1 ポイント	
粗入会率計算方法： 会員数÷60歳以上人口					
特別会員・役員		26 人	26 人	0 人	0.0 %
賛助会員		240 社・人	265 社・人	▲ 25 社・人	▲ 9.4 %

#### (2) 契約の状況

##### ア 契約実績

区分		令和2年度	令和元年度	増減	
契約件数	計	27,342 件	30,942 件	▲ 3,600 件	▲ 11.6 %
	公共	435 件	455 件	▲ 20 件	▲ 4.4 %
	事業所	14,900 件	16,000 件	▲ 1,100 件	▲ 6.9 %
	家庭	11,002 件	13,372 件	▲ 2,370 件	▲ 17.7 %
	自主事業	45 件	51 件	▲ 6 件	▲ 11.8 %
	指定管理	518 件	693 件	▲ 175 件	▲ 25.3 %
	派遣事業	442 件	371 件	71 件	19.1 %
契約額	計	1,618,701,276 円	1,614,108,777 円	4,592,499 円	0.3 %
	公共	350,097,466 円	368,925,612 円	▲ 18,828,146 円	▲ 5.1 %
	事業所	870,756,560 円	953,129,728 円	▲ 82,373,168 円	▲ 8.6 %
	家庭	128,670,327 円	147,824,946 円	▲ 19,154,619 円	▲ 13.0 %
	自主事業	3,560,756 円	5,064,323 円	▲ 1,503,567 円	▲ 29.7 %
	指定管理	213,757,996 円	90,489,271 円	123,268,725 円	136.2 %
	派遣事業	51,858,171 円	48,674,897 円	3,183,274 円	6.5 %

イ 受託事業就業実績

区分		令和2年度	令和元年度	増減	
配分金		1,313,119,781 円	1,379,613,382 円	▲ 66,493,601 円	▲ 4.8 %
就業延人数		452,660 人	487,289 人	▲ 34,629 人	▲ 7.1 %
就業実人数		3,165 人	3,361 人	▲ 196 人	▲ 5.8 %
平均就業 日数	年	143.0 日	145.0 日	▲ 2.0 日	▲ 1.4 %
	月	11.9 日	12.1 日	▲ 0.2 日	—
月平均配分金		34,574 円	34,206 円	368 円	1.1 %
就業率		78.7 %	78.9 %	▲ 0.2 ポイント	
就業率計算方法： 就業実人員 ÷ 会員数(ゴールド会員を除く)					

ウ 派遣事業就業実績

区分		令和2年度	令和元年度	増減	
賃金		39,464,673 円	37,406,803 円	2,057,870 円	5.5 %
就業延人数		11,683 人	10,679 人	1,004 人	9.4 %
就業実人数		76 人	154 人	▲ 78 人	▲ 50.6 %
平均就業 日数	年	153.7 日	69.3 日	84.4 日	121.8 %
	月	12.8 日	5.8 日	7.0 日	—
月平均賃金		43,273 円	20,242 円	23,031 円	113.8 %

※派遣事業の契約額と賃金の差が手数料収入

※手数料収入は兵シ協分を含む

## 報告第3号 令和3年度事業計画について

公益社団法人尼崎市シルバー人材センター定款第36条の規定に基づき  
令和3年度事業計画(令和3年3月29日理事会決定)について報告する。  
事業計画の内容は、別添3「令和3年度事業計画」のとおり。

令和3年5月27日 提出

公益社団法人尼崎市シルバー人材センター  
理事長 岩 田 強

## 令和3年度事業計画

昨年発生した新型コロナウイルスは、またたく間にパンデミックとなり、国内においても、2度に亘り緊急事態宣言が発令されるに至りました。経済活動に加え、働き方や日常の生活様式そのものを大きく転換させる状況になりました。

尼崎市シルバー人材センターにおいても、従前からの受注契約の大幅な変更など大きな影響を受けました。本年3月21日をもって全都道府県において宣言が解除されたものの、今なおリバウンドが懸念され先行き予断を許さない状況であります。

一方で人生100年時代を迎え、働く意欲のある高齢者の能力開発と活躍の場の確保を趣旨とした高齢者雇用安定法が本年4月から施行され、シルバー事業を取り巻く環境は益々変化してきています。

令和3年度は、ポストコロナ社会を築くスタートの年という認識のもとに、かかる状況、今後の動向をしっかりと見据えつつ、新たな発想と柔軟な行動力をもって、喫緊の課題である「会員拡大」と「新たな事業開拓」を図ることを事業運営の根本とし、次のような取り組みを展開してまいります。

## 1 会員拡大の取り組み

長年の懸案事項である会員の減少に対しては、これまでも行ってきた様々な啓発活動等、特に女性会員の入会促進に向け、継続して進めていくことにより、会員の拡大を図ってまいります。

## (1) 入会説明会等

- ・入会説明会の開催回数、内容等の改善

- 新・女性に特化したセミナー、研修等の開催

- ・高齢者活躍人材確保育成事業の技能研修を活用した入会促進

## (2) 周知啓発等

- ・地域の会館、公共施設等での会員募集チラシの設置

- ・市報、機関誌等への会員募集の広告掲載

- ・読みやすく工夫したチラシの全戸配布

- ・会員紹介制度の推進（会員の口コミ促進）

## (3) 関係機関との連携

- ・シニア向け就業セミナー等の行事参加

- ・定年退職者を対象とした顧客企業への入会促進の働きかけ

- ・求人情報、会員の就業希望に関する地区事務所との情報共有

- ・未就業会員への積極的な就業機会の提供

## 2 事業開拓・普及啓発事業の実施

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け民間事業所・家庭分野において前年度を大きく下回りました。今後は情報を収集しコロナ禍でも需要がある分野を模索し事業開拓を図ります。

### (1) 事業開拓

- ・事業開拓チラシの全戸配布の実施
- ・全国統一普及啓発促進月間（10月）や各地域で開催されるイベント等に合わせた地区強化月間による事業開拓の推進

新・コロナ禍における新しい生活様式での新たな事業開拓

（在宅勤務者のPC機器の接続、出張PCサービス等）

- ・顧客ニーズの把握、サービス向上を図るための顧客訪問の実施
- ・尼崎市をはじめとする公共機関や民間企業への事業開拓の働きかけ

### (2) 普及啓発

- ・地区まつりなどのイベントや、わがまちクリーン運動、地域での児童見守り等ボランティア参加によるシルバーのPRの実施
- ・既存の顧客を対象とした賛助会員への加入促進
- ・仕事募集チラシの全戸配布
- ・シルバーホームページの活用

## 3 安全・適正就業の推進

近年就業中、移動中の事故が多発し「会員が安全にまた適正に就業する」という、会員拡大、事業開拓と並ぶ重要な目標が損なわれつつあります。

令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、また実技をはじめ様々な安全研修を実施し、「適正就業ガイドライン」をもとに会員が健康でまた安全に就業できるよう継続して取り組みます。

### (1) 安全研修、講習会

- ・剪定、除草従事者（職域班、便利屋班）対象の実技講習の実施
- ・運転業務従事者対象の安全講習の実施
- ・「尼崎シルバー安全の日（毎月20日）」の安全講習会の実施
- ・「安全・適正就業月間（7月）」にあわせた各地区での安全大会の開催
- ・入会時の安全講習会の実施、安全必携ハンドブック、安全作業マニュアル、安全講習会受講証の配布

### (2) 周知、啓発等



- ・安全、健康管理の情報を掲載した「安全だより」の発行  
（事故情報、コロナウイルス感染症、熱中症等情報掲載）、
  - ・会員に対しての安全講習会受講義務（3年に1回）の周知
  - ・熱中症対策等安全確保のためのグッズの支給
- (3) 点検、パトロール等
- ・安全対策員による各就業場所での安全点検の実施  
（2ヶ月に1回実施）
  - ・安全巡視員及び安全・適正就業委員による安全パトロールの実施
  - ・事故を起こした会員に対するペナルティ制度の実施
  - ・本部、支部、地区事務所における無事故日数の表示
  - ・安全対策の取り組みに成果のあった地区に対する表彰の実施
- (4) 適正就業
- ・単価表に基づいた契約と最低賃金改定時の契約変更交渉
  - ・「適正就業ガイドライン」による会員、職員及び発注者に対する周知及び既存の契約内容の随時点検の実施

#### 4 指定管理事業の実施

令和3年度から、尼崎市立園田東及び西生涯学習プラザの指定を受けました。今後においてもシルバー人材センターにふさわしい指定管理業務があれば積極的に応募してまいります。

##### (1) 尼崎市立老人福祉工場

令和3年度末をもって5年間の指定管理期間満了

- ・パンフレットの活用による受注の拡大
- ・市民を含めた各種研修、講習会の実施
- ・工場の新たな利用について市関係部署との協議継続

##### (2) 尼崎市立自転車等駐車場（北西部）、放置自転車対策業務

令和2年度からの5年間を尼崎市シルバー人材センター単独で受注（令和6年度末まで）

- ・就業会員に対する各種研修の実施によるサービスの向上  
（接遇、防犯、防災、個人情報保護等）
- ・ホームページによる情報提供による利用者サービスの向上  
（自転車駐車場定期利用状況の掲示等）
- ・尼崎市の指導による適正・効率的な撤去と、周辺店舗・地域住民への啓発活動の強化による放置自転車の削減
- ・武庫之荘駅自転車等駐車場における自主事業の促進  
（レンタサイクルの促進、自転車の簡易修繕、物品販売等）

##### 新(3) 尼崎市立園田東及び西生涯学習プラザ

令和3年度から3年間「あまがさきコミュニティーパートナーズ」（公益財団法人尼崎市文化振興財団との共同事業体）として受注

- ・共同事業体として適正、効率的な組織、人事等の決定、実施
- ・提案書に沿った運営による利用者サービスの向上

## 5 各事業の取り組み

### (1) 共済事業の取り組み

令和3年度から新たに相互扶助等事業として位置づけ「共済事業」の名称で実施、推進します。

- ・共済事業委員会の設置
- ・新たな要綱の設置による各同好会、親睦活動への助成
- ・新たな要綱の設置による慶弔見舞金品等の給付
- ・落語、観劇券の斡旋、医療品、ギフト商品の販売紹介
- ・新春日帰りバス旅行、工場見学会等の実施
- ・ゴールド会員への記念品の贈呈

### (2) 自主事業の取り組み

令和2年度は自主事業においても新型コロナウイルス感染拡大による大きな影響がでました。令和3年度もこの状況を見据えながら事業運営を図ります。

#### ○パソコン教室

- ・講座内容の工夫（基礎講座からスキルアップ講座へ）
- ・趣味や季節にあわせた新たな講座の導入

#### ○自転車リサイクル

- ・自転車作業所移転の周知（令和3年1月から）
- ・「事務局だより」による会員向け自転車の販売促進
- ・自転車リサイクル作業の新たな人材育成

#### ○会員製作マスク販売

- ・会員製作のマスクを本部、支部、地区事務所で販売

### (3) 一般労働者派遣事業、有料職業紹介事業

シルバー派遣に関連する法令等の情報を収集し、適正な就業を進めます。高年齢者雇用安定法第39条の規定による業務拡大については、発注者の要望に応じ実施します。

新・働き方改革や労働法令の改正等の情報の収集と対応の実施

- ・厚生労働省が推進する「放課後児童クラブ」への就業拡大の推進
- ・派遣事業の積極的なPRによる適正就業と実績の向上
- ・有料職業紹介を希望される発注者に対しての適切対応

## 6 各組織の機能強化

### (1) 事務局機能の強化

令和2年度から新型コロナウイルス感染症拡大防止及び今後の

「働き方改革」を見据えた、職員による在宅勤務（テレワーク）を実施しました。令和3年度においても引き続き事務、職場環境等の改善に努めるとともに、尼崎市・兵庫県・兵シ協等との連携を強化し、各種情報の収集に努めます。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大状況に応じた在宅勤務（テレワーク）やリモート会議の実施
- ・顧客や会員の情報に対する個人情報の保護に関する規程や特定個人情報事務取扱規程に沿っての厳格な取り扱いの徹底
- ・職員を対象とした兵シ協や尼崎市等が実施する研修会への積極的な参加
- ・近隣シルバー人材センターとの交流や、他市シルバー人材センターへの視察研修の実施

## (2) 地区事務所の機能強化

近年、地区事務所の移転が続きましたが、移転先においても滞りなく業務を継続できるように設備等の環境整備を行ってまいりました。

令和3年度においてもパソコンの整備やコロナ対策等の設備の充実を図っていきます。また、便利屋班やコーディネーター・世話人等の会議や研修を実施し、総合的に事務所機能の充実を図ります。

- ・パソコンの有効活用による会員の就業相談、就業促進の迅速化
- ・地区事務所の機能強化及び世話人の役割分担等についての協議の継続
- ・事務局との連携強化による会員への迅速、親切、丁寧な対応
- ・世話人と事務局との定期的な連絡会議の開催
- ・便利屋班の作業における軽トラックの有効利用及び安全確保等のグッズ支給
- ・入会説明会や事務局だよりを利用した便利屋班・家事介護分野における就業会員の確保
- ・新任世話人に対する研修、便利屋班の接遇研修等の実施

## (3) 職域班の機能強化

職域班の人手不足の解消を図るため、新たな会員が加わり易い環境づくりに努めるとともに、就業者の技能や接遇意識の向上を図っていきます。また、地域班との連携方法についての検討を継続していくほか、研修会や連絡会を定期的に行い、情報の共有や安全意識の徹底を図ります。

- ・技能を有する会員の高齢化及び慢性的な人手不足に対応するための新たな会員の取り込み育成
- ・剪定班・除草班の班体制見直しと育成の環境整備
- ・本部・支部事務所での筆耕業務受付の実施

- ・筆耕班の新人育成、スキルアップを目的とした勉強会の実施
- ・苦情発生時の現場把握と会員への適切な指導の実施
- ・班活動の活性化と就業意識の高揚を目的とした情報の共有や意見交換のための職域班会議の開催

## 7 会員向けの各種取り組み

事務局と地域班の連携をとり、会員への就業相談や求人情報の提供などの取り組みを推進します。

- 新・仕事募集や緊急連絡、イベント等の情報提供の促進を目的とした、会員就業管理ソフトの新機能であるSMS（ショートメッセージ）サービスの活用
- ・苦情の発生防止のため、就業会員のマナー指導を徹底と必要に応じての接遇研修の実施
- ・事務局だよりやホームページを活用した行事・イベントの予定、求人情報、人権啓発に関する情報等の発信
- ・家事・介護、育児サービス関係の仕事を希望している会員に対する地区事務所での研修の実施
- ・地区事務所への情報提供の充実を図るため、仕事紹介の基礎資料となる希望職種・希望時間等会員情報の随時更新
- ・本部・支部及び地区事務所における未就業会員に対する就業相談の随時実施
- ・新入会員に対する担当職員の指定、及び所属地区の説明や就業相談などのサポートの実施

## 8 第4次事業活性化計画の策定

令和3年度は、当センター第3次事業活性化計画の最終年度となりますが、現時点においては契約金額、会員数等の各目標数値達成は困難な状況にあります。

次の第4次事業活性化計画（令和4年度から5年間）については、現在の状況を踏まえ計画策定の是非、時期等を含め検討します。

## 報告第4号 令和3年度収支予算について

公益社団法人尼崎市シルバー人材センター定款第36条の規定に基づき  
令和3年度収支予算（令和3年3月29日理事会決定）を報告する。

収支予算の内容は、別添4「令和3年度収支予算書」のとおり。

令和3年5月27日 提出

公益社団法人尼崎市シルバー人材センター  
理事長 岩 田 強

令和3年度収支予算書  
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

単位:千円

科 目	予算額	前年度 当初予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	1,678,090	1,715,946	▲ 37,856	
受取配分金	1,276,713	1,328,701	▲ 51,988	民間受託事業減収
受取材料費等	13,358	14,097	▲ 739	
受取事務費	153,566	153,887	▲ 321	
指定管理等事業受託収益	234,453	219,261	15,192	新規受託
労働者派遣事業等受託収益	4,001	5,594	▲ 1,593	派遣手数料減収
労働者派遣事業受託収益	4,001	5,594	▲ 1,593	
有料職業紹介事業受託収益	1	1	0	
有料職業紹介事業受託収益	1	1	0	
受取会費	8,867	3,472	5,395	
正会員受取会費	8,217	2,820	5,397	共済事業組入れ
賛助会員受取会費	650	652	▲ 2	
受取補助金等	56,454	56,454	0	
受取連合交付金	23,996	23,996	0	
受取尼崎市補助金	32,458	32,458	0	
受取負担金	0	1	▲ 1	
受取負担金	0	1	▲ 1	
特定資産運用益	2	1	1	
特定資産受取利息	2	1	1	
雑収益	1,673	13	1,660	共済事業組入れ
雑収益	1,673	13	1,660	
経常収益計	1,749,088	1,781,482	▲ 32,394	
(2) 経常費用				
事業費	1,723,771	1,750,879	▲ 27,108	
支払配分金	1,432,610	1,469,308	▲ 36,698	減収に連動
支払材料費等	13,358	14,097	▲ 739	
役員等報酬	10,320	8,832	1,488	所長手当
給料手当	65,155	62,238	2,917	新規採用職員分
嘱託報酬	52,355	55,154	▲ 2,799	退職1人
法定福利費	19,017	18,906	111	
退職給付費用	4,931	4,770	161	
福利厚生費	729	435	294	
役員等旅費交通費	52	45	7	
旅費交通費	193	109	84	
通信運搬費	7,714	7,231	483	
減価償却費	7,306	6,343	963	

単位:千円

科 目	予算額	予算額	増 減	備 考
什器備品費	830	1,579	▲ 749	
消耗品費	14,368	15,405	▲ 1,037	コロナ対策用品
修繕費	2,538	2,017	521	
印刷製本費	1,268	1,270	▲ 2	
光熱水料費	9,057	10,325	▲ 1,268	駐輪場
賃借料	7,223	5,813	1,410	園田地区事務所
保険料	10,249	9,083	1,166	
諸謝金	33,554	33,646	▲ 92	
租税公課	11,275	9,725	1,550	消費税
支払負担金	179	160	19	
委託費	15,593	14,045	1,548	新PC保守
支払手数料	49	46	3	
慶弔費	1,300	0	1,300	共済事業組入れ
組織活動助成金	2,410	0	2,410	共済事業組入れ
雑費	138	297	▲ 159	
管理費	25,755	31,810	▲ 6,055	
役員等報酬	720	950	▲ 230	
給料手当	5,665	5,412	253	
法定福利費	945	903	42	
退職給付費用	346	357	▲ 11	
福利厚生費	7	6	1	
会議費	1,738	393	1,345	総会通常開催
役員等旅費交通費	10	26	▲ 16	
旅費交通費	60	70	▲ 10	
通信運搬費	81	109	▲ 28	
減価償却費	636	552	84	
什器備品費	40	200	▲ 160	
消耗品費	1,021	5,240	▲ 4,219	40周年記念事業
修繕費	200	200	0	
印刷製本費	61	61	0	
光熱水料費	2,190	2,198	▲ 8	
賃借料	2,939	4,083	▲ 1,144	支部事務所
保険料	270	264	6	
諸謝金	0	914	▲ 914	
租税公課	120	120	0	
支払負担金	845	893	▲ 48	
支払利息	226	0	226	
委託費	7,521	8,758	▲ 1,237	40周年記念事業
支払手数料	89	76	13	
雑費	25	25	0	
経常費用計	1,749,526	1,782,689	▲ 33,163	
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 438	▲ 1,207	769	
特定資産評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	▲ 438	▲ 1,207	769	

単位:千円

科 目	予算額	予算額	増 減	備 考
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産売却(除却)損	1	0	1	
経常外費用計	1	0	1	
当期経常外増減額	▲ 1	0	▲ 1	
当期一般正味財産増減額	▲ 439	▲ 1,207	768	
一般正味財産期首残高	402,755	405,068	▲ 2,313	
一般正味財産期末残高	402,316	403,861	▲ 1,545	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	402,316	403,861	▲ 1,545	

収支予算書に係る注記

1 投資活動及び財務活動に関する見込

単位:千円

科 目	予算額	予算額	増 減	備 考
1 投資活動収支の部				
(1) 投資活動収入				
固定資産売却収入	0	0	0	
車両運搬具売却収入	0	0	0	
什器備品売却収入	0	0	0	
敷金・保証金等戻り収入	0	0	0	
敷金戻り収入	0	0	0	
保証金戻り収入	0	0	0	
預託金戻り収入	0	0	0	
特定預金取崩収入	70,000	95,748	▲ 25,748	
退職手当引当預金取崩収入	0	0	0	
減価償却引当預金取崩収入	0	0	0	
財政運営資金積立預金取崩収入	70,000	47,000	23,000	
周年記念事業積立預金取崩収入	0	8,748	▲ 8,748	
設備等整備資金積立預金取崩収入	0	40,000	▲ 40,000	
投資活動収入計	70,000	95,748	▲ 25,748	



単位:千円

科 目	予算額	予算額	増 減	備 考
(2) 投資活動支出				
固定資産取得支出	0	245	▲ 245	
車両運搬具購入支出	0	0	0	
什器備品購入支出	0	245	▲ 245	
電話加入権購入支出	0	0	0	
構築物等取得支出	0	0	0	
敷金・保証金等支出	0	0	0	
敷金支出	0	0	0	
保証金支出	0	0	0	
預託金支出	0	0	0	
特定預金支出	76,149	118,167	▲ 42,018	
退職手当引当預金支出	1,215	2,315	▲ 1,100	
減価償却引当預金支出	2,934	3,852	▲ 918	
財政運営資金積立預金支出	70,000	70,000	0	
周年記念事業積立預金支出	2,000	2,000	0	
設備等整備資金積立預金支出	0	40,000	▲ 40,000	
投資活動支出計	76,149	118,412	▲ 42,263	
投資活動収支差額	▲ 6,149	▲ 22,664	16,515	
2 財務活動収支の部				
(1) 財務活動収入	0	0	0	
(2) 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	

## 2 債務負担額

令和3年度リース料（車両2台 累計408,060円）

令和3年度～令和5年度リース料（機器1台 累計178,200円）

令和3年度～令和7年度リース料（車両1台 累計2,265,010円）

令和3年度～令和7年度リース料（システム搭載パソコン29台 累計8,528,572円）

令和3年度～令和8年度リース料（車両1台 累計1,512,720円）

### 資金調達及び設備投資の見込み

#### (1) 資金調達の見込み

令和3年度中に資金調達の予定はありません。

#### (2) 設備投資の見込み

令和3年度中に重要な設備投資の予定はありません。

## 議案第1号 令和2年度収支決算について

公益社団法人尼崎市シルバー人材センター定款第37条の規定に基づき  
令和2年度実施事業の収支決算について承認を求める。

収支決算の内容は、別添5「貸借対照表」等計算書類のとおり。

令和3年5月27日 提出

公益社団法人尼崎市シルバー人材センター  
理事長 岩 田 強

## 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	23,442,620	12,630,688	10,811,932	駐輪場収入(一時預かり)
未収金	146,971,029	148,323,781	▲ 1,352,752	
仮払金	2,718,103	2,718,103	0	
立替金	74,360	0	74,360	
前払金	20,108,310	15,440,024	4,668,286	次年度消費税予定納税
流動資産合計	193,314,422	179,112,596	14,201,826	
2 固定資産				
(1) 特定資産				
退職手当引当預金	29,354,376	26,693,501	2,660,875	積立対象職員増
減価償却引当預金	54,834,676	59,500,821	▲ 4,666,145	当年度除却
財政運営資金積立預金	70,000,000	45,000,000	25,000,000	
周年記念事業費積立預金	12,358,000	15,358,000	▲ 3,000,000	
設備等整備資金積立預金	146,286,000	135,286,000	11,000,000	
特定資産合計	312,833,052	281,838,322	30,994,730	
(2) その他固定資産				
建物	54,959,884	58,051,377	▲ 3,091,493	当年度償却
構築物	1,834,650	2,242,350	▲ 407,700	当年度償却
車両運搬具	1,287,329	1,851,869	▲ 564,540	当年度償却
備品	1,041,261	2,187,399	▲ 1,146,138	当年度償却及び除却
機械及び装置	4,995,467	5,965,175	▲ 969,708	当年度償却
建物附属設備	5,943,600	6,764,400	▲ 820,800	当年度償却
電話加入権	1,740,039	1,740,039	0	
敷金	300,000	700,000	▲ 400,000	立花地区事務所
保証金	1,200,000	0	1,200,000	園田地区事務所
預託金	144,090	144,090	0	
出資金	100,000	100,000	0	
その他固定資産合計	73,546,320	79,746,699	▲ 6,200,379	
固定資産合計	386,379,372	361,585,021	24,794,351	
資産合計	579,693,794	540,697,617	38,996,177	
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	122,422,035	109,755,584	12,666,451	駐輪場配分金支払い増
前受金	450,000	158,400	291,600	
預り金	23,571,337	12,637,378	10,933,959	駐輪場収入増
仮受金	711,342	454,501	256,841	
流動負債合計	147,154,714	123,005,863	24,148,851	
2 固定負債				
退職手当引当金	29,354,376	26,693,501	2,660,875	引当対象職員増
固定負債合計	29,354,376	26,693,501	2,660,875	
負債合計	176,509,090	149,699,364	26,809,726	
III 正味財産の部				
1 一般正味財産	403,184,704	390,998,253	12,186,451	
(うち特定資産への充当額)	(283,478,676)	(255,144,821)	(▲16,917,460)	
正味財産合計	403,184,704	390,998,253	12,186,451	
負債及び正味財産合計	579,693,794	540,697,617	38,996,177	

# 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	1,566,843,105	1,565,433,880	1,409,225	
受取配分金	1,188,615,613	1,314,688,810	▲ 126,073,197	事業減
受取材料費等	10,277,809	10,152,575	125,234	
受取事務費	154,191,687	150,103,224	4,088,463	便利屋作業単価改定
指定管理等事業受託収益	213,757,996	90,489,271	123,268,725	事業増
労働者派遣事業等受託収益	5,628,700	5,711,200	▲ 82,500	
労働者派遣事業等受託収益	5,628,700	5,711,200	▲ 82,500	
有料職業紹介事業受託収益	0	0	0	
有料職業紹介事業受託収益	0	0	0	
受取会費	3,113,400	3,278,350	▲ 164,950	
正会員受取会費	2,479,400	2,626,350	▲ 146,950	
賛助会員受取会費	634,000	652,000	▲ 18,000	
受取補助金等	57,511,340	56,503,085	1,008,255	
受取連合交付金	24,496,000	23,996,000	500,000	
受取尼崎市補助金	33,015,340	32,507,085	508,255	
特定資産運用益	2,002	3,013	▲ 1,011	
特定資産受取利息	2,002	3,013	▲ 1,011	
雑収益	277,399	294,737	▲ 17,338	
雑収益	277,399	294,737	▲ 17,338	
経常収益 計	1,633,375,946	1,631,224,265	2,151,681	
(2) 経常費用				
事業費	1,587,059,716	1,626,372,727	▲ 39,313,011	
支払配分金	1,313,119,781	1,379,613,382	▲ 66,493,601	事業減
支払材料費等	10,277,809	10,152,575	125,234	
世話人・役員等報酬	8,269,000	8,336,000	▲ 67,000	
給料手当	64,699,584	49,838,313	14,861,271	科目の組替、新規採用職員分
嘱託報酬	55,746,080	41,119,002	14,627,078	嘱託員3人増
法定福利費	19,879,359	18,805,497	1,073,862	正規、嘱託職員4人増
退職給付費用	5,148,352	12,030,208	▲ 6,881,856	経常引当
福利厚生費	417,803	331,525	86,278	
役員等旅費交通費	11,840	97,890	▲ 86,050	
旅費交通費	920	0	920	
通信運搬費	7,024,086	5,930,773	1,093,313	コロナ感染対策(書類送付増)
減価償却費	6,168,207	6,738,116	▲ 569,909	
什器備品費	2,622,468	610,816	2,011,652	コロナ感染対策(物品購入)
消耗品費	11,656,327	8,594,791	3,061,536	コロナ感染対策(物品購入)
修繕費	6,467,230	4,477,850	1,989,380	立花、園田地区事務所移転費用

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
印刷製本費	908,490	1,199,922	▲ 291,432	
光熱水料費	8,253,785	4,590,733	3,663,052	指定管理(駐輪場)
賃借料	5,628,727	5,427,183	201,544	
保険料	8,913,795	8,652,150	261,645	
諸謝金	29,624,930	46,088,908	▲ 16,463,978	科目の組替
租税公課	11,162,572	9,416,072	1,746,500	消費税
支払負担金	0	105,500	▲ 105,500	
委託費	10,730,020	2,662,561	8,067,459	指定管理(駐輪場)各種保守料
教材費	0	4,130	▲ 4,130	
支払手数料	179,970	721,055	▲ 541,085	
貸倒支出	0	20,271	▲ 20,271	
訓練委託費	0	39,600	▲ 39,600	
雑費	148,581	767,904	▲ 619,323	
管理費	33,589,772	23,406,404	10,183,368	
役員等報酬	735,000	580,000	155,000	
役員等旅費	5,380	0	5,380	
給料手当	5,626,053	4,333,766	1,292,287	事業費との配賦分
臨時雇賃金	0	0	0	
法定福利費	971,625	805,922	165,703	
退職給付費用	390,388	1,046,105	▲ 655,717	
福利厚生費	6,446	5,639	807	
会議費	0	1,884,947	▲ 1,884,947	定時総会 縮小開催
旅費交通費	13,700	119,960	▲ 106,260	
通信運搬費	117,251	92,680	24,571	
減価償却費	536,365	585,923	▲ 49,558	
什器備品費	517,850	12,830	505,020	
消耗品費	6,664,062	427,651	6,236,411	40周年記念品、コロナ対策物品
修繕費	3,374,853	88,230	3,286,623	支部務所移転費用
印刷製本費	35,200	100,845	▲ 65,645	
光熱水料費	2,092,885	2,235,874	▲ 142,989	
賃借料	3,943,616	4,057,067	▲ 113,451	
保険料	251,379	198,492	52,887	
諸謝金	656,240	0	656,240	
租税公課	118,728	118,728	0	
支払負担金	849,352	791,000	58,352	
委託費	6,498,588	5,824,099	674,489	
支払手数料	70,311	75,666	▲ 5,355	
雑費	114,500	20,980	93,520	
経常費用 計	1,620,649,488	1,649,779,131	▲ 29,129,643	
当期経常増減額	12,726,458	▲ 18,554,866	31,281,324	

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	
車両運搬具売却益	0	0	0	
経常外収益 計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	540,007	2	540,005	
什器備品除却損	540,007	2	540,005	
車両運搬具除却損	0	0	0	
構築物除却損	0	0	0	
過年度損失修正	0	0	0	
過年度損失修正	0	0	0	
経常外費用 計	540,007	2	540,005	
当期経常外増減額	▲ 540,007	▲ 2	▲ 540,005	
当期一般正味財産増減額	12,186,451	▲ 18,554,868	30,741,319	
一般正味財産期首残高	390,998,253	409,553,121	▲ 18,554,868	
一般正味財産期末残高	403,184,704	390,998,253	12,186,451	
II 指定正味財産増減の部				
1 収益	0	0	0	
収益 計	0	0	0	
2 費用	0	0	0	
費用 計	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	403,184,704	390,998,253	12,186,451	

# 正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	1,534,770,432	32,072,673	1,566,843,105
受取配分金	1,188,615,613	0	1,188,615,613
受取材料費等	10,277,809	0	10,277,809
受取事務費	122,119,014	32,072,673	154,191,687
指定管理等事業受託収益	213,757,996	0	213,757,996
労働者派遣事業等受託収益	5,628,700	0	5,628,700
労働者派遣事業等受託収益	5,628,700	0	5,628,700
職業紹介事業受託収益	0	0	0
職業紹介事業受託収益	0	0	0
受取会費	1,873,700	1,239,700	3,113,400
正会員受取会費	1,239,700	1,239,700	2,479,400
賛助会員受取会費	634,000	0	634,000
受取補助金等	57,511,340	0	57,511,340
受取連合交付金	24,496,000	0	24,496,000
受取尼崎市補助金	33,015,340	0	33,015,340
特定資産運用益	2,002	0	2,002
特定資産受取利息	2,002	0	2,002
雑収益	0	277,399	277,399
雑収益	0	277,399	277,399
経常収益計	1,599,786,174	33,589,772	1,633,375,946
(2) 経常費用			
事業費	1,587,059,716	0	1,587,059,716
支払配分金	1,313,119,781	0	1,313,119,781
支払材料費等	10,277,809	0	10,277,809
世話人・役員等報酬	8,269,000	0	8,269,000
給料手当	64,699,584	0	64,699,584
嘱託報酬	55,746,080	0	55,746,080
法定福利費	19,879,359	0	19,879,359
退職給付費用	5,148,352	0	5,148,352
福利厚生費	417,803	0	417,803
役員等旅費交通費	11,840	0	11,840
旅費交通費	920	0	920
通信運搬費	7,024,086	0	7,024,086
減価償却費	6,168,207	0	6,168,207
什器備品費	2,622,468	0	2,622,468
消耗品費	11,656,327	0	11,656,327
修繕費	6,467,230	0	6,467,230
印刷製本費	908,490	0	908,490
光熱水料費	8,253,785	0	8,253,785
賃借料	5,628,727	0	5,628,727
保険料	8,913,795	0	8,913,795
諸謝金	29,624,930	0	29,624,930
租税公課	11,162,572	0	11,162,572
委託費	10,730,020	0	10,730,020
支払手数料	179,970	0	179,970
雑費	148,581	0	148,581

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
管理費	0	33,589,772	33,589,772
役員等報酬	0	735,000	735,000
役員等旅費交通費	0	5,380	5,380
給料手当	0	5,626,053	5,626,053
法定福利費	0	971,625	971,625
退職給付費用	0	390,388	390,388
福利厚生費	0	6,446	6,446
旅費交通費	0	13,700	13,700
通信運搬費	0	117,251	117,251
減価償却費	0	536,365	536,365
什器備品費	0	517,850	517,850
消耗品費	0	6,664,062	6,664,062
修繕費	0	3,374,853	3,374,853
印刷製本費	0	35,200	35,200
光熱水料費	0	2,092,885	2,092,885
賃借料	0	3,943,616	3,943,616
保険料	0	251,379	251,379
諸謝金	0	656,240	656,240
租税公課	0	118,728	118,728
支払負担金	0	849,352	849,352
委託費	0	6,498,588	6,498,588
支払手数料	0	70,311	70,311
雑費	0	114,500	114,500
経常費用計	1,587,059,716	33,589,772	1,620,649,488
評価損益等調整前当期経常増減額	12,726,458	0	12,726,458
当期経常増減額	12,726,458	0	12,726,458
2 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0
車両運搬具売却益	0	0	0
過年度収益修正	0	0	0
過年度収益修正	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	496,806	43,201	540,007
車両運搬具除却損	0	0	0
什器備品除却損	496,806	43,201	540,007
構築物除却損	0	0	0
過年度損失修正	0	0	0
過年度損失修正	0	0	0
経常外費用計	496,806	43,201	540,007
当期経常外増減額	△ 496,806	△ 43,201	△ 540,007
当期一般正味財産増減額	12,229,652	△ 43,201	12,186,451
一般正味財産期首残高	350,792,840	40,205,413	390,998,253
一般正味財産期末残高	363,022,492	40,162,212	403,184,704
II 指定正味財産増減の部			
1 収益			
収益計	0	0	0
2 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	363,022,492	40,162,212	403,184,704



## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定額法により直接減価償却を実施している。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

### 2 特定資産の増減及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職手当引当預金	26,693,501	2,660,875	0	29,354,376
減価償却引当預金	59,500,821	0	4,666,145	54,834,676
財政運営資金積立預金	45,000,000	70,000,000	45,000,000	70,000,000
周年記念事業費積立預金	15,358,000	0	3,000,000	12,358,000
設備等整備資金積立預金	135,286,000	29,000,000	18,000,000	146,286,000
合 計	281,838,322	101,660,875	70,666,145	312,833,052

### 3 特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対応す る額
退職手当引当預金	29,354,376	0	0	29,354,376
減価償却引当預金	54,834,676	0	54,834,676	0
財政運営資金積立預金	70,000,000	0	70,000,000	0
周年記念事業費積立預金	12,358,000	0	12,358,000	0
設備等整備資金積立預金	146,286,000	0	146,286,000	0
合 計	312,833,052	0	283,478,676	29,354,376

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高	備考
建物(無償譲渡による取得)	96,609,170	41,649,286	54,959,884	
構築物	4,077,000	2,242,350	1,834,650	
車両運搬具	23,767,804	22,480,475	1,287,329	
備品	26,411,797	25,370,537	1,041,260	
機械及び装置	14,692,545	9,697,078	4,995,467	
建物附属設備	10,800,000	4,856,400	5,943,600	
合 計	176,358,316	106,296,126	70,062,190	

### 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
運営補助金 兵シ協交付	0	24,496,000	24,496,000	0
運営補助金 尼崎市交付	0	33,015,340	33,015,340	0
合 計	0	57,511,340	57,511,340	0

## 附属明細書

### 1 特定資産の明細

特定資産については、財務諸表の注記に記載しているため省略している。

### 2 引当金の明細

退職手当引当金の当期増減額と残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職手当引当金	26,693,501	2,660,875	0	0	29,354,376

# 財 産 目 録

令和3年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
<b>(流動資産)</b>			
現 金	手元保管	手元資金として	521,361
預 金	普通預金		22,921,259
	尼崎信用金庫東難波支店	運転資金として	(20,239,885)
	三井住友銀行尼崎支店	運転資金として	(760,335)
	ゆうちょ銀行振替口座	運転資金として	(1,921,039)
未収金	令和3年3月 尼崎市分等	請求後未入金分	146,971,029
仮払金		つり銭等として	2,718,103
立替金	立花駐輪場工事代	尼崎市請求分	74,360
前払金		次年度消費税予定納税	20,108,310
<b>流 動 資 産 合 計</b>			<b>193,314,422</b>
<b>(固定資産)</b>			
退職手当引当			29,354,376
預 金	尼崎信用金庫東難波支店普通預金	公益目的事業及び管理業務における、職員退職給付引当金の引当資産として管理している。	(19,193,501)
	ゆうちょ銀行振替口座		(10,160,875)
減価償却引当	尼崎信用金庫東難波支店普通預金 ゆうちょ銀行振替口座	公益目的事業及び管理業務における、車両・備品等固定資産の買替用資産として管理している。	54,834,676
			(40,872,367) (13,962,309)
財政運営資金			70,000,000
積立預金	尼崎信用金庫東難波支店普通預金	公益目的事業及び管理業務における積立資金であり、運転資金として使用している。	(34,000,000)
	三井住友銀行尼崎支店普通預金		(13,000,000)
	ゆうちょ銀行振替口座		(23,000,000)
周年記念事業 費積立預金	尼崎信用金庫東難波支店普通預金	記念事業を行う目的で、管理費への充当を指定して、積み立てている資産である。	12,358,000
	尼崎信用金庫東難波支店定期預金		(0)
	ゆうちょ銀行定期貯金		(6,358,000) (6,000,000)
設備等整備資 金積立預金	尼崎信用金庫東難波支店普通預金	公益目的事業及び管理業務で使用する設備等の整備や事業用資産初期投資用の資金として管理している。	146,286,000
	尼崎信用金庫東難波支店定期預金		(84,644,000)
	三井住友銀行尼崎支店定期預金		(3,642,000)
	ゆうちょ銀行振替口座		(10,000,000)
	ゆうちょ銀行定期貯金		(44,000,000) (4,000,000)
その他固定資産			73,546,320
建物	尼崎シルバー会館 兵庫県尼崎市東難波町 5-19-5 1028.80㎡	自己所有の建物であり、共有財産であるため使用面積の割合により下記のとおり按分している。 92% (期末帳簿価格50,563,093円)は公益保有財産として、公益目的事業に使用している。 8% (期末帳簿価格4,396,791円)は公益保有財産として管理業務に使用している。	(54,959,884)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
構築物	阪急武庫之荘駅前駐輪場2段ラック等		(1,834,650)
車両運搬具	トラック等16台	公益目的保有財産であり 公益目的事業及び管理 業務で使用している財産 である。	(1,287,329)
備品	パソコン等25品目		(1,041,261)
機械及び装置	シルバー会館駐車場		(4,995,467)
建物附属設備	尼崎シルバー会館エアコン設備		(5,943,600)
電話加入権	19本	センター実施事業に使用	(1,740,039)
敷金	地区事務所	センター実施事業に使用	(300,000)
保証金	地区事務所	センター実施事業に使用	(1,200,000)
預託金		車両運搬具預託金として	(144,090)
出資金	尼崎信用金庫		(100,000)
固定資産合計			386,379,372
資産合計			579,693,794
(流動負債)			
未払金	会員及び取引業者等	配分金、材料費等	122,422,035
前受金	会費等	令和3年度会費	450,000
預り金	日本年金機構等	職員社会保険料等	23,571,337
仮受金		発注者の過入金等	711,342
流動負債合計			147,154,714
(固定負債)			
退職手当引当金	職員に対するもの	職員11人に対する退職 金要支給額であり、公益 目的事業及び管理業務 での共用負債である。	29,354,376
固定負債合計			29,354,376
負債合計			176,509,090
正味財産			403,184,704

# 監 査 報 告 書

令和3年4月22日

公益社団法人尼崎市シルバー人材センター  
理事長 岩 田 強 様

監事 藤 田 彰 ⑩

監事 西 田 通 文 ⑩

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告などの監査結果

一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

## 議案第2号～第18号 役員を選任について

任期満了となっている役員を選任するために、理事・監事選考委員会が推薦する「理事・監事候補者」の就任について同意を求める。

令和3年5月27日 提出

公益社団法人尼崎市シルバー人材センター  
理事長 岩 田 強

議案第2号 役員を選任について

次の理事候補者の就任について同意を求める。

区 分	氏 名	選出区分
理事候補者	岩 田 強	学識経験者

議案第3号 役員を選任について

次の理事候補者の就任について同意を求める。

区 分	氏 名	選出区分
理事候補者	浮 田 敏 博	正会員（大庄地域班）

議案第4号 役員を選任について

次の理事候補者の就任について同意を求める。

区 分	氏 名	選出区分
理事候補者	金 地 享 子	学識経験者

議案第5号 役員を選任について

次の理事候補者の就任について同意を求める。

区 分	氏 名	選出区分
理事候補者	衣 笠 年 晴	学識経験者

議案第6号 役員を選任について

次の理事候補者の就任について同意を求める。

区 分	氏 名	選出区分
理事候補者	木 下 一 郎	正会員（園田地域班）

議案第7号 役員を選任について

次の理事候補者の就任について同意を求める。

区 分	氏 名	選出区分
理事候補者	佐 藤 正 一	正会員（中央地域班）

議案第8号 役員の選任について

次の理事候補者の就任について同意を求める。

区 分	氏 名	選出区分
理事候補者	末 田 芳 夫	正会員（武庫地域班）

議案第9号 役員の選任について

次の理事候補者の就任について同意を求める。

区 分	氏 名	選出区分
理事候補者	辻 本 ゆかり	学識経験者

議案第10号 役員の選任について

次の理事候補者の就任について同意を求める。

区 分	氏 名	選出区分
理事候補者	橋 本 理	学識経験者

議案第11号 役員の選任について

次の理事候補者の就任について同意を求める。

区 分	氏 名	選出区分
理事候補者	藤 井 歌 子	正会員（一般作業群）

議案第12号 役員の選任について

次の理事候補者の就任について同意を求める。

区 分	氏 名	選出区分
理事候補者	古 堅 勝 枝	正会員（事務整理群）

議案第13号 役員の選任について

次の理事候補者の就任について同意を求める。

区 分	氏 名	選出区分
理事候補者	細 見 貴 子	正会員（折衝外交群）



議案第14号 役員の選任について

次の理事候補者の就任について同意を求める。

区 分	氏 名	選出区分
理事候補者	南 恵	正会員（立花地域班）

議案第15号 役員の選任について

次の理事候補者の就任について同意を求める。

区 分	氏 名	選出区分
理事候補者	村 上 陽 子	正会員（サービス群）

議案第16号 役員の選任について

次の理事候補者の就任について同意を求める。

区 分	氏 名	選出区分
理事候補者	吉 井 二三夫	正会員（小田地域班）

議案第17号 役員の選任について

次の監事候補者の就任について同意を求める。

区 分	氏 名	選出区分
監事候補者	西 田 通 文	正会員（技術群）

議案第18号 役員の選任について

次の監事候補者の就任について同意を求める。

区 分	氏 名	選出区分
監事候補者	藤 田 彰	学識経験者

## 議案第19号 理事長に対する権限委任について

本日の議決のうち、次に該当する字句修正の権限を理事長に委任することについて、承認を求める。

令和3年5月27日 提出

公益社団法人尼崎市シルバー人材センター  
理事長 岩 田 強

- 1 内容に変更をきたさない軽微な事項の修正並びに違算又は誤字の修正
- 2 法令に基づく処分又は行政庁の指示による修正

## 令和2年度事業報告・決算の概要

令和2年度事業報告書のとおり、各種事業を計画的に執行しました。

**契約状況** 契約額16億1,870万円

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、民間事業所を中心に大きく減少しましたが、自転車関連の指定管理事業が拡大したことにより、令和元年度と比較し459万円の増加となりました。

**会員数** 4,060人（男性 2,355人、女性 1,705人）

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入会説明会の実施方法を変更して開催しました。会員募集のチラシ配布、広告掲載、ハローワークとの連携、顧客企業への案内、会員紹介制度等を実施しましたが、会員数は前年度末と比較して246人減少となりました。

**事業報告の概要**

- 各種イベントが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、顧客への働きかけのほか、事業開拓チラシの全戸配布や、機関紙に仕事募集記事を掲載する等、受注の拡大に努めました。
- 地区事務所の機能強化及び世話人の役割分担について、協議・検討し、令和3年度から新たに所長を設置するなどの地区体制の改正を行いました。
- 安全管理委員会を安全・適正就業委員会へ改組し、その所掌事項に適正就業に関することを加え、より多角的な視点から会員の安全・適正就業をサポートできるよう機能の充実を図りました。
- 公共施設の指定管理者の募集に応募し、令和3年度から園田生涯学習プラザ（園田東・園田西）の指定管理者として尼崎市文化振興財団・シルバー人材センター共同事業体あまがさきコミュニティパートナーズが指定されました。
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染予防及び事業の継続を図ることを目的とした感染対策（マニュアル）を策定しました。
- 設立40周年記念事業実行委員会のもと、記念事業を実施し、設立40周年記念特別表彰式を令和2年10月1日（木）に開催しました。網かけ

**貸借対照表（令和3年3月31日現在）**

単位：円

科目	当年度	前年度	増減	備考
<b>I 資産の部</b>				
1 流動資産	193,314,422	179,112,596	14,201,826	
2 固定資産	386,379,372	361,585,021	24,794,351	
資産合計	579,693,794	540,697,617	38,996,177	
<b>II 負債の部</b>				
1 流動負債	147,154,714	123,005,863	24,148,851	
2 固定負債	29,354,376	26,693,501	2,660,875	
負債合計	176,509,090	149,699,364	26,809,726	
<b>III 正味財産の部</b>				
1 一般正味財産	403,184,704	390,998,253	12,186,451	
正味財産合計	403,184,704	390,998,253	12,186,451	
負債及び正味財産合計	579,693,794	540,697,617	38,996,177	

**正味財産増減計算書（令和2年4月1日から令和3年3月31日）**

単位：円

科目	当年度	前年度	増減	備考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益	1,633,375,946	1,631,224,265	2,151,681	
(2) 経常費用	1,620,649,488	1,649,779,131	▲ 29,129,643	
当期経常増減額	12,726,458	▲ 18,554,866	31,281,324	
2 経常外増減の部				
当期経常外増減額	▲ 540,007	▲ 2	▲ 540,005	
当期一般正味財産増減額	12,186,451	▲ 18,554,868	30,741,319	
一般正味財産期首残高	390,998,253	409,553,121	▲ 18,554,868	
一般正味財産期末残高	403,184,704	390,998,253	12,186,451	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>	0	0	0	
<b>III 正味財産期末財産</b>	403,184,704	390,998,253	12,186,451	

## 令和3年度事業計画・予算の概要

令和3年度は、ポストコロナ社会を築くスタートの年という認識のもとに、かかる状況、今後の動向をしっかりと見据えつつ、新たな発想と柔軟な行動力をもって、喫緊の課題である「会員拡大」と「新たな事業開拓」を図ることを事業運営の根本とし、次のような取り組みを展開してまいります。

### 会員拡大の取り組み

長年の懸案事項である会員の減少に対しては、これまでも行ってきた様々な啓発活動等、特に女性会員の入会促進に向け、継続して進めていくことにより、会員の拡大を図ってまいります。

### 安全・適正就業の推進

新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、また実技をはじめ様々な安全研修を実施し、「適正就業ガイドライン」をもとに会員が健康でまた安全に就業できるよう継続して取り組みます。

### 事業開拓・普及啓発事業への取り組み

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け民間事業所・家庭分野において前年度を大きく下回りました。今後は情報を収集しコロナ禍でも需要がある分野を模索し事業開拓を図ります。

### 共済事業の取り組み

令和3年度から新たに相互扶助等事業として位置づけ「共済事業」の名称で実施、推進します。

### 指定管理事業の実施

令和3年度から、尼崎市立園田東及び西生涯学習プラザの指定を受けました。今後においてもシルバー人材センターにふさわしい指定管理業務があれば積極的に応募してまいります。

### 会員向けの各種取り組み

事務局と地域班の連携をとり、会員への就業相談や求人情報の提供などの取り組みを推進します。

### その他

- 事務局・地区事務所機能の強化
- 職域班の強化
- 第4次事業活性化計画の策定

## 令和3年度収支予算書

単位：千円

科目	予算額	前年度当初 予算額	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
受託事業収益	1,678,090	1,715,946	▲ 37,856
労働者派遣事業等受託収益	4,001	5,594	▲ 1,593
有料職業紹介事業受託収益	1	1	0
受取会費	8,867	3,472	5,395
受取補助金等	56,454	56,454	0
その他収入	1,675	15	1,660
経常収益計	1,749,088	1,781,482	▲ 32,394
(2) 経常費用			
事業費	1,723,771	1,750,879	▲ 27,108
管理費	25,755	31,810	▲ 6,055
経常費用計	1,749,526	1,782,689	▲ 33,163
当期経常増減額	▲ 438	▲ 1,207	769
<b>2 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 438	▲ 1,207	769
一般正味財産期首残高	402,755	405,068	▲ 2,313
一般正味財産期末残高	402,316	403,861	▲ 1,544
<b>II 指定正味財産増減の部</b>	0	0	0
<b>III 正味財産期末財産</b>	402,316	403,861	▲ 1,545

### 債務負担額

令和3年度リース料（車両2台 408,060円）  
 令和3年度～令和5年度リース料（機器1台 累計178,200円）  
 令和3年度～令和7年度リース料（車両1台 累計2,265,010円）  
 令和3年度～令和7年度リース料（システム搭載パソコン29台  
 累計8,528,572円）  
 令和3年度～令和8年度リース料（車両1台 累計1,512,720円）

### 資金調達及び設備投資の見込み

- (1)資金調達の見込み  
 令和3年度中に資金調達予定はありません。
- (2)設備投資の見込み  
 令和3年度中に重要な設備投資の予定はありません。



公益社団法人 尼崎市シルバー人材センター

本 部 尼崎市東難波町5丁目19番5号 電話 6481-3380

支 部 尼崎市立花町3丁目10番1号 電話 4950-5394